

「この台本の記載は、本編音声とは一部内容が異なることがあります。」

受付からプレイルームに移動した二人。床に正座させられた主人公の前に、ローザが立つ。

【ローザA】私に何か言う」とがあるんじゃないの？

主人公、え……？

【ローザA】え……じゃないよ。女王様に対してもうべき」とがあるだろ？

主人公、何をこたえてよいかわからず戸惑う。

【ローザA】……あきれた。ここまで礼儀知らずとはね。いい、さつきお前は、私の命令に逆らつてお漏らししてしまつただろ？ だつたら詫びなくちやいけないんじゃないの？

【ローザA】ローザ様、勝手にお漏らししてしまい、申し訳ございませんでした。これからは必ず言いつけを守りますつて言わなくちゃならないだろ？ ほら、黙つてじらん。

主人公、言われたとおりに謝る。

【ローザA】はい、よく言えました。でも……罰は罰として、しつかり受けてもらいうよ。ほら……目をつぶりな。

「」からローザが二人に。主人公を左右から挟み込む。

【ローザA】ふう―――

【ローザB】ふう―――

【ローザA】お前みたいなマゾブタの相手をするには一人じゃ足りないわ。だから……。

【ローザB】二人でお仕置き……してあげる。

【ローザA】ほら……目を開けて……」つちにおいて。

【ローザB】四つん這いになりな。

【ローザA】お尻突き出して『らん。……もつと、もつと突き出すんだよ。

主人公、ローザの指示通り四つん這いになる。

【ローザB】くすくす……恥ずかしい格好だこと。

【ローザA】これから、なに……されると思う？　もう一度目をつぶつて『らん。

(ムチが空を切る音)

【ローザA】くすくす……なにビクついてるんだい？　もうわかったろう。目、開けて『らん。

【ローザB】女王様の命令が聞けなかつたダメなマゾブタを、このムチで調教してあげる。命令違反がどんなに罪深いことか……身体で思い知らせてあげるわ。<sup>2</sup>

【ローザA】ほら、そのブサイクなお尻……真っ赤に腫れ上がるまでしばいてもらいたな。歯……食いしばりなさい。

【ローザB】行くよ……ほらっ！

【ローザA】うふっ、いい音♪

【ローザB】ほらっ、ほらあつ！

【ローザA】痛い？　ふふ……安心しなさい。すぐに気持ちよくなるわ。んふふふっ。

【ローザB】この礼儀知らずのつ！　マゾブタがつ！　勝手にっ！　お漏らしきつ！　本当にだらしないねお前はつ！　今からたつぱりしつけてあげるからつ！　覚悟しなつ！

【ローザA】これ……お前のために打つてあげてるんだからね。マゾブタのお前が少しでも人間らしくなるために……心を鬼にしてムチを振るつてるんだからね。ほらあ、歯を食いしばつて……女王様の愛のムチを受けなさい。

【ローザB】お前みたいなやつはっ！ 見捨てても構わないんだからねっ！ ほ  
らっ！ 腰……ひっこめるんじやないよ。もっと突き出しな。

【ローザA】どう、女王様の愛のムチのお味は？これがお前のムチ初体験なん  
だつてね。痛い？ それとも……気持ちいい？ くすくすつゝ

【ローザB】お前はなに叩かれるたびにお尻を動かしてるので。いやらしいね。黙つて私のムチを受けられないの？ ん？ ほらっ。ほらっ。

主 あ、ありがとうございます、うああつ。

【ローザB】なにそのとつてつけたようなお礼。私が何のためにお前の汚いケツにムチをあげてるか……まるでわかつてないんじやないの？

【ローザA】ていうかお前……、なにチンポ勃起させてるのさ。女王様にムチをいただいて興奮しちゃったの、マ・ゾ・ブ・タ・くん？ くす……くすくすくすつ。

【口一サB】ほんと。あきれたわね……。しつけてもらつてゐるのにチンボ勃起させ  
るなんて。くすくすくすつ。

【ローザA】ほら、謝りな。チンポ勃起させてごめんなさいって。

【ローザ】なにが“めんなさいよ、このマゾブタがっ！ ほらっ！ ほらっ！ ほらっ！

【ローザA】 犬みたいにチンチンの恰好してごらん。お前の勃起チンポ、よく見せて。

【ローザA】 あ～あ、こんなにチンポ上向かせて……。バツキバキじゃないコレ。くすくすくすつ。

【ローザA】 ねえ、これ……、先っぽからマゾ汁までたらして……。こんなに糸引いちゃって……。やらしいマゾブタだね、お前は。

【ローザA】 なに恥ずかしがってんのさ。お前が出したマゾ汁だよこれ。自分の手ですくってごらん、ほら。右手の指先にマゾ汁を絡めて……、その指……、どこに持っていくかわかるだろう？

【ローザB】 ほら、口開けて……。舌……出しな。お前の指についたマゾ汁……きれいに舐めとつてごらん？

【ローザA】 おいしい？ ん？ よかつたねえ。くす……くすくすくすつ♪

【ローザB】 もう一回指にマゾ汁塗り付けて……今度はその指、口の中にくわえてごらん。

【ローザA】 くすくす……くすくすくすつ。ねえお前……自分がいまどれだけ恥ずかしいことしてるかわかってる？ ムチでケツしばかれて……、チンポからマゾ汁ダダ漏れにさせて……、そのマゾ汁をペロペロ舐めさせて……。

【ローザB】 恥ずかしいなんてもんじやないはずなのに、チンポますます勃起させて……。恥ずかしいのが好きなんだね、お前は。さっきも受付のお姉さんに悶えてるところ見られて興奮してたもんねえ。

【ローザA】 ほんっとヘンタイ。

【ローザB】 このヘンタイマゾが。

【ローザA】 なにヘンタイって言われて喜んでるのよ。くす……くすくすくすつ。自分がおかしいってこと……ちゃんと認識してる？

【ローザB】 もつとしつけてほしい？ ん？ これ……ムチがほしいんだろう？

【ローザA】ムチで叩かれるたびに、お前がどれだけいやらしくて、情けなくて、恥ずかしい存在であるか……、身体に……、そして心に刻み込まれていくの。そよね?

【ローザB】お前みたいなマゾブタが、私にかなうわけないの。言葉と、このムチで……、私はお前の心を簡単に屈服させることができる。

【ローザA】 私には絶対にかなわないって心に深く刻み込んであげる。  
……くすくすくすつ。

【ローザB】私の言葉と、私のムチに、お前は絶対に服従する。逆らおうなんて気……ないでしょ？ これっぽっちも。ドMだものね。くすくすくすくすつ。

【ローザA】なに泣きそうな顔になつて。うれしいくせに。くすくすくすつ。私の言葉で脳みそ犯されて……頭の中すごいことになつてんでしょ？ ねえ？ くすくすくすくすつ。

【ローザB】ほら……お望み通りムチをあげる。お前のケツ……真っ赤に染めてあげるわ。たっぷり堪能しなつ！

【ローザ】あゝあ、しばかれるたびにチンポビクビクさせて。お前の身体、痛  
みと快樂と……、どつちが優先されるんだろうね。試してみようか。オナニー  
…して「らん。

【ローザA】いつも自分としてるみたいにして、してしてしてして。……ほら、さつさとやる！

【ローザA】 そう、 そうやつて激しくがーってやつてるんでしょ、 いつも。 女の人に責められてるところを想像して、 チンポしごくんでしょ？ ねえ？ 違う？

【ローザA】 さつきみたいにチンポ激しくしこしこされてえ、 女の人の前でアンアン喘ぎながらイかされちゃう……。 そういうところ想像しながらオナニーしてるんじゃないの？ ん？ マゾオナニーしてるんでしょ、 ねえ？

【ローザA】手、緩めたらタダじゃおかないと。私がいって今まで、オナニーし続けるんだよ。

【ローザA】言つとくけど、これ……、お前を喜ばせるためじゃないよ。まだオシオキは続いてるからね。お前がちゃんとオシオキをまつとうに受けられるか……試してあげる。

【ローザB】今度お漏らししたら、そうだね……バラムチじやなくて一本ムチでオシオキしてあげようか。みみずばれになつて一週間はあとが残るよ。試してみる？ んふふふふつ。

【ローザA】いやなら、ちゃんと我慢しな。それとも……今すぐ一本ムチに変えあげよつか？ ん？

【ローザA】ほら、手が緩んでる！

【ローザB】ちゃんとしなつ！

【ローザA】耳……舐めてあげる。嫌でもオナニーの手が早くなつちゃうだろう？

【ローザA】ムチでケツをしばかれながらのオナニー……そんなに気持ちいい？ ん？ ほら……もっとチンポしごいて見せな……。

【ローザB】ほら……、ほら……、ほら……、しごけ、ほら。んふ……んふふふ、んふふふふふふふふふふふ。んふふふ、んふ、んふふ、んふふふふふふふ。

【ローザB】ほんとに恥ずかしい男だねお前は。叩かれれば叩かれるほどオナニーの手が早くなつていくじゃないか。そんなにケツをしばかれるのがいいのかい？ ん？ ほらあつ。

【ローザA】チンポ持いいねえ？ 女王様にオシオキされながらチンポシコシコするの、最つ高に気持ちいいねえ？

【ローザB】こおのマゾブタがつ。ほらつ、ほらあつ。だらしない声で泣け。ほら、泣いてごらんつ。

【ローザA】ほら……ありがとうございますってお礼言わなくちゃダメでしょ？女王様のお手を煩わせてるんだからね、お前は。ありがとうございます、お尻気持ちいいです、チンポ気持ちいいですって泣きな、ほら。

【ローザA】何度も何度も、続けて言わないと。もっと感謝してもらわなくちゃねえ？

【ローザA】ほらもつと恥ずかしい声出して「こらん？」スケベで淫乱で、救いようのないドMが出す、みじめで情けなくて恥ずかしい泣き声……、私たちに聞かせて「こらん」？

【ローザB】ブヒブヒとしか聞こえないねえ、お前の泣き声は。うれしいかい？うれしいだろ？ほおらっ。自分がどれだけ情けない存在か……、ムチでしばかれるたびに身に染みるだろ？ほらっ。

【ローザB】ああいい声だこと。もっと聞かせて「こらん」。ほら、ほら、ほら。泣け。ほら……もつと泣け。

【ローザA】こんなにつらい言葉を浴びせられてるのに、チンポガツチガチにして……。チンポ気持ちいい？ん？気持ちいいの？ほら……泣きながらチンポしごき続けな？ほら……ほらほら……。

【ローザA】自分がどれだけみじめで情けない存在かを思い知らされて、でも……チンポは気持ちよくてたまらない……。だんだんイキそうになってきたんじやないの？ん？

【ローザA】オシオキされてるのにチンポイきそうになるだなんて……、くすくすくすくすくす。ほんとあさましい男だねお前は。イッちやう？ん？イッちやうの？

【ローザB】言つとくけど、お漏らしを許可した憶えはないからね。わかってるんだろうね。

【ローザA】なに泣きそうな目で私のこと見て。そうやつて哀れな目を向ければ許してもらえるとでも思うわけ？バカだねお前は。もつともつと苦しめてあげるに決まってるじゃないか。

【ローザB】ほら、手……緩んでるつ。

【ローザA】 なに、お許しくださいって。何を許してほしいの。言ってごらん。

主 … もうイキそうですっ。あああああっ。

【ローザA】 もうイキそうなの。へえ、それで。

【ローザB】 イキたいならイケばいいじゃないの、別に。私たちはまだ許さないけど。お前……、女王様のお許しがないのに勝手にお漏らししてしまう最低のマゾブタ確定ってことでいいんだね？ なら、イケば？

【ローザA】 私に服従したいんだろ？ 私に調教されたいんだろ？ 私に心も体も踏みにじられたいんだろう？ なら……奴隸として最後まで根性みせてごらん。あと十秒間、必死でチンポしごきな。我慢できたら、勘弁してあげる。

【ローザA】 10、9、8、7、6、5、4、3、2、1、0

【ローザB】 ほら……、根性見せなつ。ほらつ、ほらあつ。

【ローザA】 我慢できただじやないか、えらいえらい。いい子だ。頭……なでてあげるよ。